

博物館の役割と動向に関するレポート（骨子）

■ 大きく分けて2種類のあり方

1. ヨーロッパ型 = コレクション型
2. アメリカ型 = アイデンティティ型

■ 博物館の4機能

1. 収集・保存

2. 調査・研究

1次機能

3. 展示・公開

4. 教育・普及

2次機能

※加藤有次「博物館学総論」

■ 機能のバランスに見る、博物館のタイプと事例

- 保存継承しているコレクションから展開
 - 目的を持った収集活動から展開
 - 記念・出来事などの事象からの展開
 - 教育目的での設立
 - 普及・振興目的での設立
- など

■ 日本の博物館の時代変遷

(伊東寿朗、ミュージアムの世代別分類)

第一世代：保存志向・観光・番人

第二世代：公開志向・見学・学芸員

第三世代：参加体験・継続利用・学芸員専門分化

■ 地域と博物館の関わり方の動向

1980年代後半から、1990年代の変化

「政治・芸術」の歴史から「人々の生活」の歴史へ

○地域の「お宝」を収集、保存、展示する

○地域の歴史を収集、保存、展示する

○地域の活動・話題を取り上げ、交流の核の役割を果たす

■ 先進的な地域と博物館の連携した活動の事例

○兵庫県伊丹市、「鳴く虫と郷町」

伊丹市文化振興財団・伊丹市昆虫館
文部科学省「博物館ネットワーク構築推進事業」

○千葉市立科学館「たたら製鉄体験講座」

千葉市科学館 / 千葉市教育委員会
地域の歴史文化勉強会 / JFE スチール株式会社 / 千葉ポートタワー
千葉市中央区役所地域振興課 / 千葉市立郷土博物館 / 千葉市美術館

○中央区まるごとミュージアム

中央区及び中央区文化・国際交流振興協会

など

※委員会当日、パワーポイントにて紹介させていただきます。